

新型コロナウイルス感染症に関する有識者意見交換会

＜主な意見＞

1 都内感染症指定医療機関の現状

- クルーズ船からの陽性者（重症者を含む。）対応で感染症病床はフル稼働状態
- 帰国者・接触者電話相談センターを経由せず、外来を受診する患者が増加傾向

2 新型コロナウイルス感染症の広がり

- 都内では、感染源や感染経路が不明な事例や、集団感染事例が発生
- 新型コロナウイルス感染症は重症例から表面化しているが、多数の軽症例が潜在していると考えべき
- 大きな集団感染が突然発生する可能性あり

3 新型コロナウイルス感染症患者像

- 糖尿病などの基礎疾患を持つ患者や、高齢者が重症化する傾向あり。
50代で重症化した例もあり
- 一週間ほどで悪化し、徐々に低酸素状態になる例あり

4 検査

- 今後、都内で感染が拡大した場合には、すべての対象者にPCR検査を実施する必要はない

5 医療提供体制

- 一般の病院はまだ感染症患者を診る意識になっていない。病院の体制整備に時間がかかるため、早めに準備することが必要
- 患者の重症度に応じ、一般の医療機関と感染症指定医療機関等の役割分担を明確にすべき
- 新型コロナウイルス感染症の臨床像など、対応の指針になるようなものがあれば診療しやすい

6 院内感染防止

- 院内感染防止の啓発や、施設設備・資器材の整備が必要

7 搬送体制

- 患者の容態が変化した場合の転院搬送体制の確保が必要

8 都民への情報提供

- 正しい情報を適時適切に提供することが必要